

事業所名		じゃんけんぼんプラス				支援プログラム		作成日		6 年		7 月		20 日	
法人（事業所）理念		誰もが互いに尊重し、個性を認め合い、共に学び、共に成長できる共生社会を志す会社でありたいと考えます。 基本方針 1 「楽しみながら生きる力をつけよう」をテーマに、一人ひとりに寄り添った支援を心がけています。 2 一人ひとりが主役となって「また明日も来たい！」と思う、安心・安全な心安らぐ環境を提供し続けることを目指します。 3 未就学児から大人まで障がいを持つ方に途切れることのない支援を展開し、社会福祉の向上に努めます。													
支援方針		身辺自立・社会適応力の向上を目指すトレーニングを活動や遊びの中に織り交ぜ、子供が楽しみながらひとつひとつできることを増やしていけるよう支援します。 みんなが「明日も来たい！」と思えるような楽しくて居心地のよい時間を提供しながら、子供たちが自活の力を身につけられるようサポートしていきます。													
営業時間		9 時		30 分		18 時		30 分		送迎実施の有無		あり		なし	
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	毎日の検温、手洗いを実施すると共に保護者様からの連絡帳を通してひとりひとりの健康状態を把握します。 机、椅子、使用した道具など毎日の消毒で病気の予防や安全対策をしています。 身の回りの清潔（手洗い、消毒）・食事・衣服の脱着・排泄などの生活に必要な技術を学べるよう支援します。 個々の特性に合わせた声かけや目で見て状況が理解できる環境の設定を行います。													
	運動・感覚	日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や運動・動作の改善・習得、筋力の維持・強化を図ります。 五感で楽しめる季節に応じた制作活動を提供し、自主的に楽しく「感覚」を感じられるように支援します。 保有する五感を最大限活かすことができるように活動や遊びを通して支援します。													
	認知・行動	当日の日付・曜日・スケジュールを資格で分かるように掲示し、概念の習得を図ります。 1日の時間帯別活動を示すタイムテーブルを掲示して視覚による時間の認知形成を図ります。 音楽療法を取り入れ、聴覚を活用する能力の発達を促します。 季節の変化への興味などの感性形成のための外出行動を実施します。													
	言語 コミュニケーション	個別または小集団での障害の特性に応じた読み書きの練習を通して言語の習得を図るよう支援します。 終わりの会で活動についての振り返りを一人一人言葉で表現できるよう支援します。 様々な場面に応じて正しい言葉の理解と活用方法を繰り返し伝えることで適切なコミュニケーション方法を身につけることができるよう支援します。													
	人間関係 社会性	遊びや活動を通して一人一人の気持ちを理解し、円滑に対人関係を築くことができるよう支援します。 できる・できない等の自身の行動特性を理解し、気持ちや感情の調整ができるように配慮して支援します。 個別の活動から集団活動への移行に個々の特性を理解し、苦手意識を限りなく少なく配慮できるよう促します。													
家族支援		活動の様子について連絡ノートに記入するとともに送迎の際に保護者様にお伝えして情報の共有を図ります。学校→事業所及び事業所⇄自宅への送迎を安全に行うよう支援します。						移行支援		就労継続支援B型「emori1」「emori2」の作業見学をしたり、体験をしたりすることで就労の大切さを理解し、将来の就労への意欲を高められるよう支援します。					
地域支援・地域連携		サービス担当者会に出席してお子様の様子について共通理解を図ります。お子様の日ごろの活動の様子を見ていただいたり、保護者様同士の交流を図ったりできるよう保護者参観日を設定しています。						職員の質の向上		外部講師を招いて子供たちの療育についての研修を実施します。 業務継続計画(BCP)・虐待防止・感染症対策等の研修を実施します。 避難訓練・不審者対応訓練・連れ去り防止訓練等の訓練を実施します。					
主な行事等		夏祭り・・・かき氷、綿菓子、ヨーヨー釣り、射的、チョコバナナ等の出店を開き、子供たちが店番をしたりお客さんになったりして楽しめます。 クリスマス会・・・みんなでクリスマスソングを歌ったり、集団ゲームをしたり、サンタクロースからプレゼントをもらったりして楽しめます。 初詣・・・みんなで成田山に行ってお参りをします。 卒業式・・・卒業する子供たちに歌を歌ったり、卒業記念品をプレゼントしたり、みんなでゲームをしたりして卒業生を送ります。													